

JENESYS2018 ASEAN 招へいプログラム第 15 陣の記録 若手政治関係者交流（日本の複数政党制民主主義）対象国：カンボジア

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として、カンボジアより若手政治関係者 10 名が 2018 年 12 月 2 日～12 月 8 日の日程で来日し、「若手政治関係者交流（日本の複数政党制民主主義）」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は、日本の複数政党制民主主義についての知見を深めるべく、東京都及び茨城県を訪問しました。訪問地では、政府関係者への表敬訪問、テーマの関連機関への訪問と関係者との意見交換、選挙現場の視察、博物館や日本庭園などの名所視察を行い、日本人との交流を通じて、多角的に日本について理解を深めました。帰国前には、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

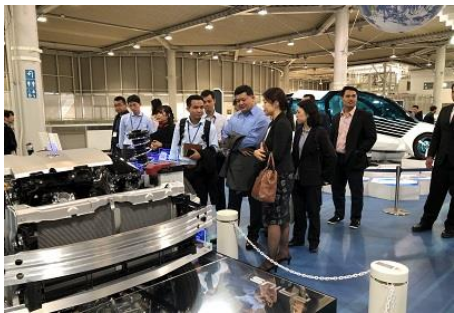
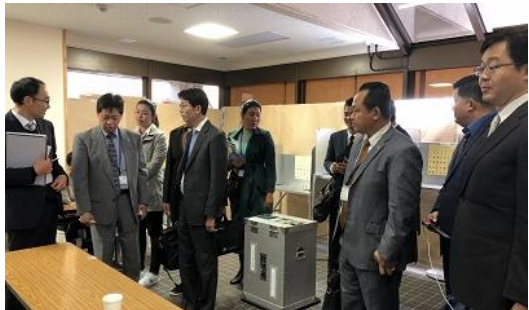
【参加国・人数】カンボジア 10 名

【訪問地】 東京都、茨城県

2. 日程

- 12月2日（日） 来日、オリエンテーション
- 12月3日（月） 【日本理解講義の聴講】講師：首都大学東京教授 境家 史郎 氏
【先端技術視察】日本科学未来館
【表敬訪問】外務省 河野 太郎 外務大臣、日本・カンボジア友好議員連盟
- 12月4日（火） 【テーマ関連の視察】国会（衆議院）
【先端技術視察】トヨタ MEGA WEB、【文化視察】江戸東京博物館
- 12月5日（水） 【テーマ関連の視察】茨城県選挙管理委員会事務局、
水戸市選挙管理委員会事務局
【文化視察】日本三名園 偕楽園、徳川ミュージアム
- 12月6日（木） 【表敬訪問】明石 康 国際文化会館理事長
【テーマ関連の視察】メディア関係者訪問
- 12月7日（金） 【ワークショップ（報告会準備）】、【文化視察】浅草寺
【成果報告会】
- 12月8日（土） 帰国

3. プログラム記録写真

		12月3日【表敬訪問】河野 太郎 外務省外務大臣 https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press1_000299.html
		12月3日【日本理解講義の聴講】 12月4日【先端技術視察】トヨタMEGA WEB
		12月5日【テーマ関連の視察】 茨城県選挙管理委員会事務局 12月5日【テーマ関連の視察】 水戸市選挙管理委員会事務局
		12月5日【文化視察】日本三大名園 偕楽園 12月5日【文化視察】徳川ミュージアム

	
12月6日【表敬訪問】 明石 康 国際文化会館理事長	12月7日【文化視察】浅草寺
	
12月7日【成果報告会】	

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 若手政治関係者

日本を理解する今回の JENESYS2018 プログラムへの参加は、日本における複数政党制民主主義に関する知識と見聞を広めたばかりでなく、私にとって非常に貴重かつ有意義なものとなりました。各種視察や交流プログラムを通じて、日本の急速な民主主義、人権尊重と発展に興味が湧きました。特に、日本人の時間厳守と互いに尊重し合う姿勢は印象的でした。成熟した日本の民主主義、急速な経済成長の基盤である民主主義の強みを理解することができました。同時に日本の公務員、選挙管理委員会、メディアがそれぞれ独立していることがわかりました。また、子どもに対して社会学習もさせることに、感銘を受けました。訪問地の街の景観や秩序、安全性を考えた都市計画は、非常に素晴らしいと実感しました。

◆ 若手政治関係者

初めての美しい日本の訪問でしたので、飛行機を降りた時から日本の全てに興味を持っていました。日本は、優れた社会基盤、高層ビル、美味しい食事、静かな環境を備えているだけでなく、親しく、礼儀正しい国民であるということをカンボジアの人々に伝えたいと思います。私は、今回の訪問で、日本の企業、地方行政、伝統文化、国家の運営について幅広く日本について学びました。また、日本の議院内閣制、選挙制度、教育、メディアの重要性等に関する理解を深めることができました。日本の公務員及び日本国民は、権力よりも国家構築を全体的な利益として捉えていると感じました。最も印象深かったのは、表敬訪問で出会った人々の言葉です。河野外務大臣、明石康国際文化会

館理事長、その他多くの要人と面会する中で、カンボジアのために、皆様からご尽力いただいていることがわかりました。明石氏には、カンボジアの和平、人権、民主主義及び初回の総選挙の実施に、多大なるご尽力を賜りました。これらの皆様のお話を聞いて感動すると同時に、心の底から感謝する気持ちで胸がいっぱいになりました。

◆ 若手政治関係者

外務大臣、外務省の要人及び明石康氏との表敬訪問の機会を持ったことは大変光栄でした。日本・カンボジア友好議員連盟への表敬訪問及び衆議院国際協力担当官による議院内閣制の説明は、最も印象が強く、大きな関心を持ちました。科学技術と様々な文化的な博物館の訪問を通じて、新たな経験をし、数世紀前からの日本とカンボジアの関係を知ることができました。

5. 参加者の対外発信

	衆院議院の視察にて、日本の議会制度を学びました。東日本大震災復興委員会の傍聴をした際、国会議事堂はアンコールワットと似ていると感じました。
	明石康元国連事務総長特別代表を表敬訪問しました。同氏は、カンボジアの和平、人権、民主主義及び初回の総選挙実施にご尽力されました。GDP 党を代表し、感謝申し上げます。カンボジア赴任中、カンボジア和平と和解のために多くの困難と直面したと述べられました。カンボジア自身が平和を構築し、民主主義と人権尊重を改善していくことを期待され、世界に完璧な民主主義はないが、改善できるものであるとも述べられました。

6. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表概要

日本は紅葉や咲く花が美しく、科学技術が発展しています。勤勉で静かな生活環境の中で互いの人権を尊重し、交通ルールを厳守しています。政治家は政策のみで戦い、共通認識である国家発展のため、共に行動しています。民主主義が成熟していることを実感しました。日本国民、日本政府は、カンボジアの発展を願い、良き友人であり、とても愛情があると感じました。帰国後、これらの経験を多くの人々に伝えたいと思います。また、今回の訪日経験を今後の自己の業務に活用したいと思います。